

5G通信

Vol.58

ハイテク北京冬季五輪の主演「5G」

いま話題の次世代通信「5G」に関する
とっておきの情報をご紹介します

中国政府は、北京冬季五輪を「ハイテク冬季五輪」と位置づけ、「5G」をはじめとする最先端IT技術の活用において選手達にも負けない注目を浴びました

国の威信をかけて技術力をアピールした中国

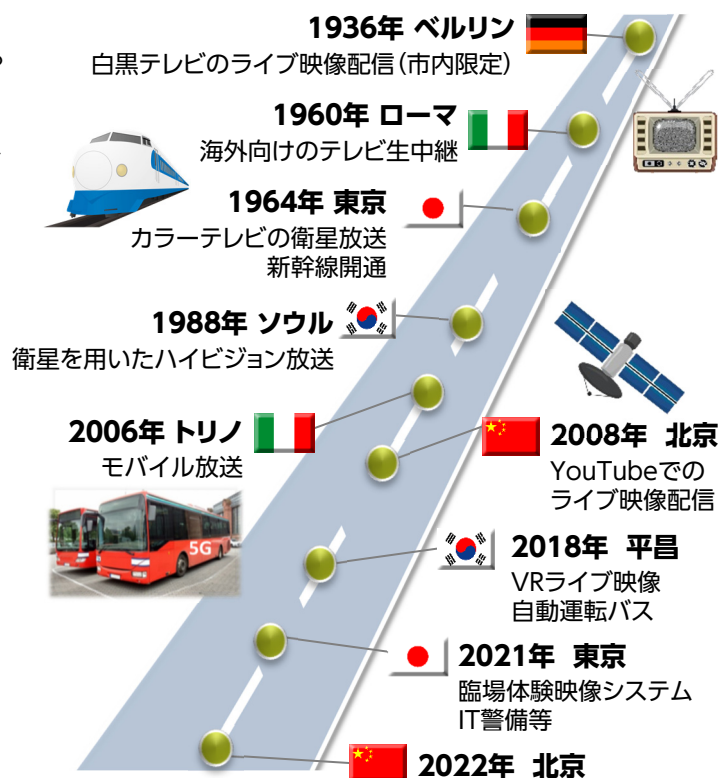
- 約2週間にわたって開催された北京冬季五輪が、2月20日に閉幕しました。世界中からの注目度が高まる五輪において中国は「ハイテク五輪」を掲げ、自国の最新技術を大いにアピールしました。
- 北京冬季五輪マスコット「ビンドゥンダウン」は、ウィンタースポーツと5G(第5世代移動通信システム)技術などハイテクのイメージを融合したデザインで人気を博しましたが、やはり今大会で最先端IT技術の活用において大きな役割を果たしたのは、会場全域をカバーした5G通信網でした。

北京冬季五輪では幅広い分野で5Gが活躍

- 3つのゾーンで構成される大会会場の移動には、時速350kmで走行する高速自動運転鉄道「復興号」を導入しました。走行中に競技中継をリアルタイムで視聴できるほか、車内には5Gを活用した超高精細放送ライブスタジオが搭載され、高画質での生中継が行われました。高速移動する車内から、長時間にわたる超高精細信号の安定した伝送を実現したのは世界初となります。
- また、コロナ禍で人同士の接触を抑えるため、オンラインで競技の取材や編集が可能となる「クラウド中継」や、選手が負傷した際に初期対応を判断する「クラウド診療」等の最新技術が導入され、ここでも5Gが活用されています。
- 映像技術では、超高画質11K撮影の採用や、周囲360度の撮影が可能な無人カメラを多数設置し、5Gを活用したVR(仮想現実)技術を応用して映像を組み合わせることで迫力ある映像を世界に発信しました。
- その他にも、開会式で披露された水中でロボット同士が聖火を受け渡す演出や、AI(人工知能)搭載の実況手話アナウンサー、ロボットが配膳する「スマートレストラン」、体温測定や清掃だけでなく空気を消毒するロボットなど至る所に最新技術をちりばめました。
- 五輪はスポーツの祭典であると同時に、「技術革新」に多大な貢献をしてきたという歴史があります。北京冬季五輪においてその主演は5Gであり、今後のさらなる進展が期待されます。



五輪でお披露目された革新的技術例



※画像はイメージです。
(出所) 各種資料を基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成



【 ご留意事項 】

- 当資料は三井住友トラスト・アセットマネジメントが投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様へ帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。